

日本語体験コンテスト入賞者が参加した マレーシア学生交流の様子が新聞に掲載されました！

2019年1月28日（月）北海道新聞 みなみ風

北海道新聞（夕刊）

2019年（平成31年）1月28日（月曜日）

すし囲み和気あいあい

函館とマレーシアの学生交流

日本語を学ぶマレーシア人の若者と函館の学生が交流する催しが24日、函館市杉並町のコワーキングスペース（共有作業場）「DI SPACE」で開かれた。函館の経済人でつくる一般社団法人「はこだて地方創生研究会」と、マレーシアとの交流を図る函館在住

者の団体「函館マレーシア協会」が企画。日本語コンテストで優秀賞に輝き、日本に招かれたマレーシアの高校・大学生5人と、道教

大函館校や函館大、函館大谷短大の学生ら計約40人が参加した。
参加者は、手巻きずしを協力して作りながら談笑。質疑応答では、マレーシアの若者や、一緒に来日したマレーシアの語学学校の西尾亜希子校長が「多民族国家なので、お互いの違いを認め合って生活している」などマレーシアの魅力を伝えた。

函館マレーシア協会の藤沢義博会長は「若い世代のつながりができてよかった。新鮮な気付きを将来につなげてほしい」と話していた。

（関口潤）

手巻きずしを一緒に作って交流した函館とマレーシアの学生ら



第6106号

●北海道新聞函館支社●

情報提供は ☎ 0138-32-5193
フリーFAX 0120-324-072
電子メール minamikaze@hokkaido-np.co.jp
掲載写真の購入は ☎ 0138-32-5118
有料広告は ☎ 0138-32-5124

日本体験旅行の様子が新聞に掲載されました！

2019年2月7日（木）北海道新聞 みなみ風

北海道新聞（夕刊） 2019年（平成31年）2月7日（木曜日）

初めての雪景色「ワクワク」

東南アジア、中国の学生ら来函

東南アジアと中国からやってきた学生らが1月23、29日、函館市内や近郊で街歩きやオリジナルのグラス作り体験などを楽しんだ。（押野友美）

市内散策やグラス作り体験

レンドリーで、インドネシアのことも教えてくれてとても楽しかったと笑顔を見せていた。

また、同20日は中国から訪れた6人が、機械を使って細かい砂をガラス表面に強く吹き付け、模様を付ける「サンドブラスト」をやる。グラススタジオ函館（末広町）で体験。参加者は用意されたシールや好きな模様を描いたシールをガラスに貼り付けるなどした。後、機械を使ってオリジナルのグラスを完成させた。鹿や天使、サンタクロースなどをデザインした張宇施さん（17）は、できたグラスを眺めながら、「クリスマスのお楽しみをイメージした。家族にプレゼントします」と話していた。

国立国際交流奨学金財団（東京）が、東南アジアの6カ国と中国で開いた日本語体験コンテストの入賞者を対象にした日本体験旅行の一環。同23日はベトナム、ミャンマー、カンボジア、タイ、インドネシア、マレーシアの6カ国の36人が個別にグループに分かれてボランティアガイドと一緒に西部地区を歩いた。インドネシア



①雪が降る中、本田さん（左）の案内で西部地区を散策するインドネシアのグループ
②サンドブラストを体験する中国人

情報地域版

みなみ風

第6114号

●北海道新聞函館支社●

情報提供は ☎ 0138-32-5193
フリーFAX 0120-324-072
電子メール minamikaze@hokkaido-np.co.jp
掲載写真の購入は ☎ 0138-32-5118
有料広告は ☎ 0138-32-5124